



遷喬小だより

7月号②

学校教育目標 **自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子どもの育成**学校スローガン **TEAM遷喬 PRIDE遷喬 ~子どもも 教師も 地域も 伸びる学校~**

元気で実り多い夏休みに！

登校日数69日の1学期が、あっという間に過ぎました。

各学年・学級は、それぞれの目標に向かって、いろいろなことに

挑戦しました。学校全体では、特に、「聴き合う・表現し合う」こと

に重点を置いて取り組み、成果が出てきていると感じます。



さて、明日からいよいよ夏休みが始まります。夏休み、ご家庭で特に守ってほしいことや取り組ん

でほしいことは次の3つです。毎年、同じことを言い続けています。

1 命を守ろう ~きまりを守れば きまりが守ってくれる~

交通事故や水難事故に絶対にあわないように気を付けよう。

新型コロナ対策・熱中症対策をしっかりと！「三密を避ける」「手洗い」「マスク」等

2 生活リズムを守ろう ~1日のスケジュールをつくって実行しよう~

計画を立てて有意義な毎日をごそう。

宿題や自由研究、応募作品にも取り組もう。

ゲーム機・スマホ等

午後9時過ぎたら家の人に預けよう！

3 家族のふれあいの場を増やそう ~家族で幸せな時間を共有しよう~

夏だからできること、普段なかなかできないこと、ゆったりとした時間等々

特別なことでなくていいです。小さな幸せをさがしてみませんか。

2学期始業式（8月25日（木））には、全員が元気で会えることを願っています。

1学期の間、保護者・地域の皆様には、たいへんお世話になりました。いつも、学校応援

団として支えていただき、本当にありがとうございます。夏休み中も、子どもたちが安全安

心な暮らしができますよう、ご配慮と声かけをよろしくお願いいたします。

メディアと上手につきあう

～コンピュータ1人1台時代の生きる力を育むつきあい方～

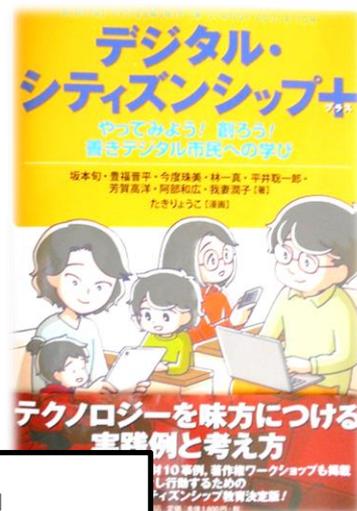
7月5日に鳥取県デジタル・シティズンシップエドゥケーターの今度珠美先生を講師に久世地区教育講演会が開催されました。演題は「メディアと上手につきあう～コンピュータ1人1台時代の生きる力を育むつきあい方～」でした。

そのご講話の中で私が印象に残ったのは、3つです。

1つめは「メディアに接するのは、情報社会という公共のマナーを学ぶ機会であり、適切な振る舞いができるようになることが大切だ。」ということです。

2つめは、家庭内のルールに関することです。「叱らないけど譲らない（一貫性）こと」、「ゴネたら自分の思い通りになる、という誤学習を避けること」、「『本当はもっと遊びたいのに我慢できて偉いね』と受容、共感、褒める関わりをしていくこと」。これらを実践するのはなかなか難しいことですが、意識して子どもに関わることが大切だと感じました。

3つめは、デジタル・シティズンシップという人としての在り方についてのことです。デジタル・シティズンシップとは、批判的に考え、責任をもってテクノロジーを使用して学習、創造参加することだそうですが、その根本として、お互いの価値観の違いを尊重していくことを強調されていたと感じました。



引用文献「デジタル・シティズンシップ+」
坂本旬・豊福晋平・今度珠美・林一真・平井総一郎・
芳賀高洋・阿部和広・我妻潤子【著】

この夏休みも子どもたちがメディアに触れる機会が多いと思います。メディアと上手につきあうことができるように、各ご家庭でも話し合ってみてはいかがでしょうか。

今年度も、希望者のご家庭には、夏休みにタブレットを持ち帰っていただきます。

分からないことや不具合も生じるかもしれませんが、その場合は、[遷喬小ホームページ ICT 関連](#)をご覧ください。それでも不明な場合は、学校へ問い合わせをしてください。